

- 1 開催概要
- 2 来場者の状況
 - (1)来場者数
 - (2)地域別来場者数割合
- 3 実行委員会の取組
 - (1)ワークショップ
 - (2)ボランティア
 - (3)イベント
 - (4)作品活用
 - (5)循環バス
 - (6)会議等の開催
- 4 地域の取組
 - (1)市民団体等の取組
 - (2)直江津まちづくり活性化協議会の取組
 - (3)直江津商店連合会の取組
- 5 広報周知
 - (1)広報印刷物・プロモーションツール
 - (2)誘導サイン
 - (3)ホームページ
 - (4)各種メディアの掲載状況
 - (5) SNS での投稿状況
- 6 協賛金・企業版ふるさと納税
 - (1)金額等
 - (2)協賛企業等の紹介
- 7 その他
 - (1)新型コロナウイルス感染症対策
 - (2)大地の芸術祭との連携
- 8 来場者アンケート

1 開催概要

(1)目的

様々な地域資源と現代アートを組み合わせた作品の展示や参加型のイベントを通じて、直江津の歴史や文化、風土などまちの魅力を引き出し、地域の価値を見つめ直す機会とするとともに、作品鑑賞等に訪れた方々が、まちを巡る中で新しい出会いや交流によって、まちの賑わいを創出する。

(2)会 期：令和3年7月31日（土）前日祭（市民向け）

8月1日（日）～9月26日（日） 会期58日間

(3)時 間：10:00～17:00（船見公園周辺海岸会場のみ10:00～19:00）

(4)主 催：なおえつ うみまちアート実行委員会（事務局：頸城自動車株式会社、株式会社良品計画、上越市）

(5)会 場：上越市直江津地区

- ・船見公園周辺海岸会場
- ・直江津屋台会館
- ・ライオン像のある館（旧直江津銀行）
- ・安国寺通り特設会場
- ・インフォメーションセンター（なおえつ茶屋）

(6)入場料：無料

(7)作家・作品

作 家	作 品	展 示 会 場
空間演出研究所	そらのみなど	船見公園周辺海岸会場
GELCHOP	直江津アップサイクルセンター	安国寺通り特設会場
西村 優子	100年後・旧直江津銀行の姿	ライオン像のある館（旧直江津銀行）
渡辺 英司	名称の海園 / めいしょうのみその	直江津屋台会館
	小さな屋台 / 移動案内車	まちなか各所
青田 真也	A.B.in Naoetsu	安国寺通り特設会場
L PACK.	Atelier Shop Naoetsu	安国寺通り特設会場（7/31～8/9）
NAKAYOSI (L PACK. × 青田 真也)	アーティストマーケット NAKAYOSI	安国寺通り特設会場（8/1）
松岡 亮	動く。動き出す。遊び。	安国寺通り特設会場

(8)キュレーター：鈴木 潤子

(9)グラフィックデザイン：株式会社日本デザインセンター

(10)作品サインデザイン：木村 剛

2 来場者の状況

(1)来場者数

・各会場に来場した延べ人数は約22,000人となった。

安国寺通り特設会場	直江津屋台会館	船見公園周辺 海岸会場	ライオン像のある館 (旧直江津銀行)	インフォメーション センター	合 計
4,861	4,904	4,746	4,631	3,034	22,176 日平均(382人/日)

船見公園周辺海岸会場は、台風9号の影響により、8月9日（月）から20日（金）まで作品展示を中止。21日（土）から再開。

(2)地域別来場者数割合（参考）

・来場者のうち7割以上が市内からであり、市内を含めた県内からの来場者は約9割となった。

市 内	県 内	県 外	県 外			合 計
			東京圏*1	長野県	その他*2	
75.7%	13.6%	10.7%	4.1%	3.9%	2.7%	100%

※1 東京圏は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県合計

※2 その他は北海道、群馬県、富山県、石川県、愛知県、大阪府、福岡県など24道府県

3 実行委員会の取組

(1)ワークショップ

- ・なおえつ うみまちアートに参加する作家本人が講師となり、会期中に小学生向けワークショップを開催し、計43人が参加した。

項 目	概 要
作家渡辺英司さんによる 「作品を作ろう！ワークショップ」	植物図鑑や魚図鑑から図版を切り取り、作品の一部として展示。 日 時：7月31日（土）、8月1日（日）15:00～16:00 会 場：直江津屋台会館 参加人数：計12人（保護者除く）
作家西村優子さんによる 「紙の造形ワークショップ」	お祭りで使う紙垂 <small>しで</small> の作り方と造形的な面白さを体験。 日 時：8月22日（日）14:00～14:30/15:00～15:30/16:00～16:30 8月23日（月）10:00～10:30/11:00～11:30 会 場：ライオン像のある館（旧直江津銀行） 参加人数：計31人（保護者除く） ※関根学園高等学校からの参加者5人を含む



作品を作ろう！ワークショップ(直江津屋台会館)



紙の造形ワークショップ(ライオン像のある館)

(2)ボランティア

- ・作品制作や運営サポートのボランティアを募集し、計578人が参加した。

項 目	概 要
作家渡辺英司さんの作品制作 / 撤収サポート	【制作】 各種図鑑から切り取られた図版を、作家と一緒に直江津屋台会館に並べる作業。 日 時：7月27日（火）13:30～18:00 会 場：直江津屋台会館 参加人数：2人 この他、7月29日（木）に直江津中学校美術部21人が作品制作ボランティアに参加した。 【撤収】 直江津屋台会館に並べた図版を作家と一緒に撤収する作業。 日 時：9月27日（月）10:00～17:00 会 場：直江津屋台会館 参加人数：1人
作家松岡亮さんの作品制作 / 監視 / 撤収サポート	作品である50枚のシャツを会場に飾り付ける作業の補助、監視、撤収作業。 日 時：9月6日（月）・7日（火）10:15～11:15 会 場：安国寺通り特設会場 参加人数：9月6日（月）3人、9月7日（火）1人
空間演出研究所の作品制作サポート	作品である什器の塗装や制作サポート。 日 時：7月14日（水）・18日（日）・20日（火）9:00～16:00 7月16日（金）9:00～12:00 会 場：三ノ輪台いこいの広場 参加人数：2人（上越教育大学の院生）
インフォメーションセンター	インフォメーションセンターを訪れる方の受付・案内業務。 日 時：8月24日（火）、9月5日（日）10:00～17:00 会 場：インフォメーションセンター 参加人数：8月24日（火）1人、9月5日（日）1人
船見公園周辺海岸会場 クリーン活動	船見公園周辺海岸会場の作品を気持ちよくご覧いただくための海岸の清掃。 日 時：会期中の毎週木曜日 17:30～（30分程度） 毎週土曜日 7:30～（30分程度） 会 場：船見公園周辺海岸会場 参加人数：計523人 この他、8月3日（火）に関根学園高等学校の学生23人が海岸清掃を行った。

(3) イベント

・なおかつ うみまちアートイベントや美術関係者による作品にまつわるトークイベントを開催し、計629人が参加した。

項目	概要
互の市アートマルシェ	互の市広場において、直江津の食や商品を中心に販売。 関根学園高等学校美術部、直江津地区の小学生を対象に参加アーティスト渡辺英司氏の作品「小さな屋台/移動案内車」を制作するワークショップを開催。 日時：7月17日（土）10:00～17:00 共催：直江津駅前商店街振興組合 会場：互の市広場 参加人数：計566人
うみまちアート・トーク	キュレーター、市立美術館館長によるアートや作品にまつわるトークイベント。 日時：会期中の金・土曜日（全13回）14:00～14:20 会場：直江津学びの交流館 参加人数：計63人

(4) 作品活用

・渡辺英司の作品「小さな屋台/移動案内車」が直江津のまちなか各所で活用された。

活用場所	活用期間	活用概要
互の市広場 (互の市アートマルシェ)	7/17 (土)	関根学園高等学校美術部が小さな屋台/移動案内車制作小学生向けワークショップで描いた絵を展示
三八朝市通り	7/18 (日) 9/23 (木・祝) 9/25 (土)	うみまちアート PR のため、朝市で開催したスイーツまつりや鉄道まつりのイベントに合わせて、三八朝市通り入口に設置
三野屋	7/24 (土)～9/26 (日)	うみまちアート PR のため、店頭に設置
ハイマート	7/29 (木)～9/26 (日)	駅弁販売の店構えとして活用
古城小学校	7/31 (土)～8/10 (火)	キャンペーンの際に校内に展示
安国寺通り特設会場前	8/4 (水)～9/26 (日)	うみまちアートの公式ロゴを使用したグッズ販売の店構えとして活用
	8/18 (水)～8/24 (火)	オーガニックドリンクやお菓子等の販売の店構えとして活用
	8/25 (水)～8/31 (火)	こけしの展示及び販売の店構えとして活用
直江津学びの交流館	8/18 (水)～9/26 (日)	アートに関連する資料や本を屋台に展示
海浜公園	8/28 (土) 8/29 (日)	うみまちアート PR のため、NIIGATA SOUVENIR CLUB が実施するイベント時に、チラシを屋台に載せ、園内に設置
エルマール1階	8/30 (月)～9/26 (日)	うみまちアート PR のため、館内に設置
国府小学校・直江津小学校 直江津南小学校・古城小学校	9/27 (月)～	各小学校に作家から屋台を寄贈。総合学習等で活用

(5) 循環バス

・直江津駅前を発着として、公式ロゴをラッピングした4会場を結ぶ無料の「うみまちバス」を10:00～16:30の間、30分おきに運行し、会期中に計750人が利用した。

運行日時	8月7日（土）から9月26日（日）の土日祝日運行
ルート	直江津駅前 → 直江津ショッピングセンター前 → 直江津屋台会館前 → 船見公園周辺海岸 → 中央二丁目 → 直江津駅前通り → 直江津駅前

【利用者数】

乗降場所		直江津駅前		直江津 SC		直江津屋台会館		船見公園		中央2丁目		直江津駅通り		計
乗車数	降車数	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	
		200	171	166	101	178	147	124	169	74	44	8	118	750

(6) 会議等の開催

ア. 実行委員会

- ・第1回 4月30日（金） 実行委員会の設置、事業名称の協議、予算の審議など ※実行委員会開催後、報道向け質疑応答
- ・第2回 5月14日（金） ロゴ制作の協議、スケジュール協議など
- ・第3回 6月18日（金） 作品プランの説明、グラフィックデザイン協議、市民参画の取組内容の検討
- ・第4回 7月15日（木） 作品の制作状況、イベント周知・ボランティア募集、広報活動の進捗状況報告、
予算執行状況報告など ※実行委員会開催後、報道向け質疑応答
- ・第5回 10月22日（金） 事業・アンケート結果報告、決算見込み、意見交換

イ. 市民説明会

- ・7月12日（月） 事業概要、作家・作品の紹介、イベント周知・ボランティア募集など 参加人数：15人

ウ. 式典

- ・オープニングセレモニー 7月31日（土）
- ・クロージングセレモニー 9月26日（日）

エ. その他

- ・作品展示の4会場で、58日間計73人が運営スタッフとして来場者の対応を行った。アンケートには、スタッフの対応を褒めていただく記載が多かった。
- ・上越商工会議所からなおえつ茶屋（中央1丁目5番2号）の1階店舗を借り受けて、インフォメーションセンターとして、なおえつ うみまちアートの各会場の案内、直江津の飲食店やお土産店などを案内するとともに、市民団体などのリーフレットやチラシを配布した。また、来場者が休憩できる空間を設え、飲み物等を販売した。

4 地域の取組

(1)市民団体等の取組

- ・会期中に市民団体によるアートイベントや、なおえつ うみまちアートのロゴを使用した物販、地元小学生による作品の見学会が行われた。

【取組一覧】

団体名等	開催日	イベント名(会場)	内 容
無印良品 直江津	7/20(火) ～9/26(日)	動詞の森「MUJI IS」を携えて展 (Open MUJI)	無印良品直江津のOpen MUJIで、無印良品誕生から40年を迎えた2020年に出版した書籍『MUJI IS 無印良品アーカイブ』と連動し、本書で取り上げた15の動詞とともに商品や活動を紹介。
公益社団法人 上越青年会議所	7/31(土)	造形ワークショップ (直江津S Cエルマール)	市と教育委員会が後援し、直江津のうみをテーマに海に流れ着いた流木や漂着物から、海の生きもの、想像の生きもの、生きものすみかななどを制作する造形ワークショップを開催。
	8/1(日) ～8/3(火)	作品展示(自由鑑賞) (直江津学びの交流館)	7/31(土)のワークショップで制作した作品を、直江津をモチーフにした地図の中に配置し、直江津学びの交流館で展示。
MogMogカンパニー 設立準備会	7/31(土) ～9/26(日)	アプリ音声ガイド	展示された作品や作家の紹介について、スマートフォンを通じて聞くことができるアプリ音声ガイドを作成。
五智国分寺ランチ & Café 上人茶屋	8/2(月) ～9/26(日)	「うみまちソーダ」販売 (五智国分寺境内「上人茶屋」)	なおえつ うみまちアートをイメージし、アイスクリームと生クリームをトッピングした鮮やかな青色のソーダを販売。
みずいろ実行委員会	8/4(水) ～8/8(日)	わたしのえがくわたしのまちなおえつTシャツ (直江津S Cエルマール)	直江津キャンパスTシャツプロジェクトに参加した直江津小学校、直江津南小学校、古城小学校の児童が作成したTシャツを直江津S Cエルマールで展示。
NIIGATA SOUVENIR CLUB (ニイガタ スーベニアクラブ)	8/4(水) ～9/26(日)	オリジナルグッズ販売 (安国寺通り特設会場)	上越市立歴史博物館ミュージアムショップの店内及び安国寺通り特設会場において、なおえつ うみまちアートのロゴマークを印字したTシャツ、トートバッグなどを制作、販売。
市内在住作家3人	8/8(日) ～9/2(木)	作品展示 (インフォメーションセンター)	3人の作家がリレー形式で、心象画やさりを織り、水彩画や油絵等の各々の作品を展示。
公益社団法人 新潟建築士会	8/21(土)	海岸漂着物でオリジナルランプを作ろう(船見公園海岸・上越市市民プラザ)	船見公園海岸にて漂着物集めを行いながら、砂浜のごみ拾いを実施。その後、拾った漂着物でオリジナルランプを作成。
直江津 プライド2021	8/7(土) 8/28(土) 9/4(土) 9/19(日)	直江津・まちなかこれもアートか? まち歩きツアー(直江津地区)	なおえつ うみまちアートの作品見学とともに、まちにある知られざるアートを発見するまち歩きツアーを実施。
直江津図書館	8/20(金) ～9/26(日)	こどもアートてんぷち(直江津図書館2階こども図書館)	こども図書館利用者が手軽にアート作品を制作し・展示できるイベントを企画。様々な図形の色紙を台紙に張り、完成した作品を図書館内で展示。
直江津学びの交流館	8/27(金) ～9/26(日)	「津の岬でギョ!!」(直江津学びの交流館内直江津まちなか水族館)	地元作家が、館内水槽の中にアルミ缶で制作した魚を入れ、水槽上部に直江津を楽しむ家族連れを折り紙で表現した作品を展示。
ヨリ・ミチ図工室	8/27(金) ～9/26(日)	うみかぜモビール(上越信用金庫本店、第四北越銀行直江津中央支店、八十二銀行直江津支店)	上越教育大学五十嵐史帆研究室と小林古径記念美術館が連携して行っている小学生対象の造形ワークショップにおいて制作した作品を金融機関のショーウィンドウに展示。
直江津小学校	3年生: 9/22(水) 6年生: 9/2(木)	作品見学	総合学習の授業で作品を見学。作品とともにまちを歩きながら直江津を再発見する授業を実施。
	6年生: 9/16(木)	キュレーター鈴木潤子氏による特別授業	キュレーターによるなおえつ うみまちアートに関する講演や児童が作品を鑑賞した際の感想や意見を交換。
直江津南小学校	2年生: 9/13(月) 3年生: 9/8(水) 4年生: 9/14(火)	作品見学	2・3年生においては、見学後、児童各自のオススメスポット紹介をインフォメーションセンターに掲示。

(2)直江津まちづくり活性化協議会の取組

- ・商店街や市民団体等の17団体で構成された、直江津のまちの活性化に取り組む直江津まちづくり活性化協議会が、なおえつ うみまちアートとともにまちを盛り上げるための取組を構成団体や市民団体、小中学校等に呼びかけを行った。
- ・小中学校をはじめとした14団体がイベントや企画展を実施するとともに、同協議会がミニのぼりを制作するなどなおえつ うみまちアートのPRを行った。実行委員会として、事業経費1,000千円を助成した。



うみまちファイナルスペシャル「秋の味覚マルシェ」

【取組一覧】

団体名等	開催日	イベント名(会場)	内 容
上越市立水族博物館 うみがたり	8/1(日) ～9/26(日)	アート作品展示イベント (上越市立水族博物館うみがたり)	うみがたり施設前広場、館内特設会場において、うみがたりの生きものをモチーフにした2mを超える大型サンドアートや廃材で作られた等身大の海の生きものを創作した廃材アートを展示。
直江津中学校 (美術部)	8/7(土) ～9/17(金)	うみまちクジラの作品公開 (直江津中学校)	校舎北側の窓ガラスに色とりどりの円形の画用紙を張り付けて、巨大なクジラのシルエットを表現。
直江津まちづくり活性化協議会イベント部会	8/10(火) ～9/26(日) (会期終了後も活用)	「うみまちアート」ミニのぼり旗の制作と商店街個店等での設置(直江津地区中心部商店街、企業・団体)	ミニのぼり旗を店舗・事業所内のレジカウンター、受付カウンター等来客からよく見える場所に設置。
直江津まちづくり活性化協議会ガイドマップ部会	8/10(火) ～9/26(日) (会期終了後も活用)	「ガイドマップあります!」のぼり旗の制作と街なか各所での設置(観光案内所など直江津地区中心部の公共施設、商店街個店など)	「直江津みどころガイド&マップ」の設置・配布場所に「ガイドマップあります!」と記載されたのぼり旗を設置。
直江津小学校 (5・6年生)	9/1(水) ～9/26(日) (会期終了後も実施)	汐なり活動(直江津地区)	直江津やうみまちアートの宣伝活動を学校のホームページ等で実施。
直江津まちなか水族館	9/1(水) ～9/26(日) (会期終了後も活用)	直江津まちなか案内(直江津駅自由通路内直江津まちなか水族館)	ポスターの掲示板を増設し、うみまちアートのポスターを掲示。
メダカの会	9/1(水) ～9/26(日) (会期終了後も活用)	まちなか水槽のうみまちアート化(直江津駅自由通路内直江津まちなか水族館)	うみまちアートに合うように青色の生物(鑑賞魚)を追加し、同時に照明を改善。
ひぐちキミヨ	9/3(金) ～9/5(日)	直江津うみのまち展① (直江津S Cエルマール)	直江津の町を描いた洋画家の村山陽氏、イラストレーターのひぐちキミヨ氏の作品約20点を展示。
	9/18(土) ～9/20(月)	直江津うみのまち展② (直江津S Cエルマール)	写真家の寺尾昭人氏、絵画や立体作品作家のイシダケンイチロウ氏、ひぐちキミヨ氏の作品を展示。
クレーレ海の街 なおえつ展を開催する会	9/3(金) ～9/5(日)	クレーレ海の街なおえつ展 (直江津S Cエルマール)	2018年にエルマールのテナントとしてあった「クレーレ」の作家たちが「海の街・直江津」をイメージした作品を展示。
彫刻ピカピカ倶楽部	9/5(日)	直江津駅前彫刻ピカピカ大作戦(直江津駅前)	市民とともに直江津駅前にあるブロンズ彫刻の清掃活動を実施。
直江津南小学校 (1年生)	9/7(火) ～9/9(木)	アートでつなごうスマイルリボン! (直江津S Cエルマール)	児童が描いた絵を展示したほか、来場者がメッセージを書いたりリボンを半円のアーチに結びつけて展示。
古城小学校(全児童)	9/10(金) ～26(日)	うみまちの風でおもてなし (配布先:事業所)	手書きの風鈴を作成し、校区内をはじめとした直江津地区の事業所に展示を依頼。
ドレメ展を開催する会	9/11(土) ～9/20(月)	アトリエ・ドレメ復活展 (安国寺通り空き店舗)	安国寺通りの空き店舗を利用して抽象画やイラストなど4人の作品を展示。
「直江津ゆかりの作品展」を開催する会	9/23(木) 9/25(土) 9/26(日)	直江津ゆかりの作品展 (安国寺通り空き店舗)	直江津ゆかりの作家・作品22点を個人や小、中学校から借用し、直江津ゆかりの作品を通して直江津の魅力を紹介。
国府小学校(4年生)	9/24(金) ～9/26(日) (会期終了後も10/11まで実施)	のぼり設置 (直江津海岸沿い)	国府小付近の直江津海岸沿いに、児童が彩ったのぼり旗12本を設置。
直江津S Cエルマール	9/26(日)	うみまちファイナルスペシャル「秋の味覚マルシェ」	直江津を中心とした飲食店が集い、上越産の栗を使ったスイーツを新規制作・販売。

(3)直江津商店連合会の取組

- ・直江津商店連合会が、「アートと直江津（まち）を楽しむスタンプラリー」を企画し、4会場を巡るスタンプラリー達成者に、原則1日先着200人として直江津の50店舗で利用できる500円引き商品券を配布した。
- ・9月の土日祝祭日（計10日間）に限定して実施し、商品券2千枚を配布。実行委員会として、事業経費1,200千円を助成した。



スタンプラリー
(安国寺通り特設会場)

【配布実績】

配布日	9/4	9/5	9/11	9/12	9/18	9/19	9/20	9/23	9/25	9/26	計
枚数	59	158	173	180	200	270	218	342	200	200	2,000

5 広報周知

(1)広報印刷物・プロモーションツール

印刷物	部数	仕様等
ガイドマップ	20,000部	A 3 八つ折り両面
チラシ	15,000部	A 4 両面
ポスター（イラストのみ）	全3種 計825部	B 2
ポスター（イラスト+写真）	全3種 計234部	B 2
シール	135,000枚	40×40ミリ角 R1.5
紙うちわ	3,000枚	丸抜き（直径200mm、穴21mm）



ポスター（イラストのみ）



ガイドマップ・チラシ

(2)誘導サイン

項目	数量	仕様等
会場サイン（立て看板）	全4種 計7点	・W600mm × H900mm ・4会場ごとに設置
案内所サイン	1枚	・W1800mm × H2200mm ・インフォメーションセンターに設置
展示会場案内サイン	1枚	・W1250mm × H2000mm ・インフォメーションセンターに設置
駅構内大型看板	全3種	・W7400mm × H1200mm ・直江津駅エスカレーター階段天井
会場誘導サイン	全40種	・直江津の街中の路上や壁に、各会場への誘導サインをシールとして貼付。
商店街通りフラッグ	全2種 計46枚	・W600mm × H870mm ・両面プリント / スエード製
風船サイン	全2種 計200個	・各会場設置 ・直江津屋台会館で配布
のぼり旗	70枚	・W600mm × H1800mm ・直江津各所に設置
式典用スタンドサイン	1台	・W7200mm × H600mm ・直江津屋台会館前
駅前サイン	看板1基 サイン1基	・看板 W550mm × H2300mm ・サイン W180mm × H2000mm ・直江津駅エスカレーター前に設置



駅内大型看板
(直江津駅構内)



商店街通りフラッグ
(駅前商店街通り)



案内所・展示会場案内サイン
(インフォメーションセンター)



会場誘導サイン①
(勝島鮮魚店)



会場誘導サイン②
(美容室みよんみよん)



会場誘導サイン③
(インフォメーションセンター)



会場誘導サイン④
(直江津屋台会館付近)



会場誘導サイン⑤
(直江津駅北口前)



会場サイン (立て看板)
(直江津屋台会館)

(3)ホームページ

・6月19日(土)からイベント告知を目的としたティザーサイトを公開した。また、7月19日(月)から公式ホームページを開設し、作品やアーティスト紹介、ワークショップやボランティアの周知・募集を行った。



トップページ



作家・作品ページ

(4)各種メディアの掲載状況

・新聞や雑誌、テレビ放映などで多数取り上げられた。

メディア	日 時	記事・番組名称	出版社等
新聞・雑誌	7月1日(木)	ほくほく線沿線情報誌	ほくほく線沿線地域振興連絡協議会
	7月20日(火)	まるごと上越	上越タイムス社
	7月20日(火)	Casa BRUTUS オンライン	マガジンハウス
	7月22日(木)	Joetsu-assh	新潟日報
	7月24日(土)～8月1日(日)	上越タイムス(8回にわたり、作家、作品紹介の特集記事を掲載)	上越タイムス社
	7月25日(日)	月刊にいがた8月号	株式会社ジョイフルタウン
	7月28日(水)	エルジャポン9月号	ハースト婦人画報社
	8月1日(日)～9月30日(木)	上越タイムス(全力取材のコーナーで直江津を取材し毎日掲載)	上越タイムス社
	8月23日(月)	タウンウィークリー	株式会社ニュース・ライン
	8月25日(水)	新潟 Komachi10月号	新潟日報
	8月25日(水)	月刊にいがた9月号	株式会社ジョイフルタウン
	8月26日(木)	cocola 9月号	株式会社パーツプロダクション
	8月26日(木)	Joetsu-assh	新潟日報
自治体広報誌等	7月10日(土)	市報とおかまち7月10日号	十日町市
	7月25日(日)	広報上越8月号	上越市
	7月30日(金)	市民の窓	上越タイムス社
	7月30日(金)	NIIGATA 市町村情報	公益財団法人新潟県市町村振興協会
	8月25日(水)	広報上越9月号	上越市
	8月31日(火)	さくら通信7.8月号	上越地域振興局
テレビ	8月13日(金)	夕方ワイド新潟一番	テレビ新潟
	8月19日(木)	N S T Live News イット!	新潟総合テレビ
ラジオ	7月28日(水)	広報Jステーション	エフエム上越
	8月30日(月)	HAPPY MAPPY!	FM-NIIGATA
有線放送	8月11日(水)	市政の窓	上越市有線放送電話協会
WEB	7月30日(金)	日刊にいがた	株式会社ジョイフルタウン
	8月27日(金)	おでCafé	東北電力株式会社
SNS	8月1日(日)	日本旅遊活動 VISIT JAPAN NOW (Facebook)	株式会社ブレイン

(5) SNSでの投稿状況

・展示作品やまちなかのサインなど、来場者によるInstagramへの多くの投稿があった。「#なおえつうみまちアート」「#うみまちアート」等、なおえつうみまちアートに関連したハッシュタグにより情報が拡散されて認知度向上につながった。

【投稿の主なコメント】

- ・廃校の備品で作ったアート作品は面白かったです。
- ・いいタイミングで上越に行けて、新たな上越を知る機会になりました。
- ・作品を見ると心が躍るなあと思いました。

ハッシュタグ名	投稿件数
「#なおえつうみまちアート」	879
「#うみまちアート」	376

(令和3年11月19日時点)



6 協賛金・企業版ふるさと納税

(1)金額等

- ・市民や団体、市内事業者に対し、実行委員会が個別に訪問し、協賛金の協力を依頼したほか、インフォメーションセンターにおいて広く協賛金を募った。
- ・また、市外に本社がある事業者に対しては、事業の目的や概要を説明し、企業版ふるさと納税の協力を依頼した。

種 類	件 数	金 額
協賛金（実行委員会へ）	51	4,130,250円
企業版ふるさと納税（市へ）	7	14,300,000円

(2)協賛企業等の紹介

- ・インフォメーションセンターにおいて企業名を掲出。
- ・公式ホームページに掲載。
- ・新潟日報（8/15）、上越タイムス（8/15、9/11、9/27）に広告掲出。
- ・ビジュアルブックに協賛企業名等を掲載。

7 その他

(1)新型コロナウイルス感染症対策

- ・各会場において、来場者に対し、受付簿に氏名と連絡先の記入を促し、感染者が発生した場合に備えた。
- ・検温、記名を行った来場者は、リストバンドを着用することで、来場者本人や地域住民の双方が安心してイベントが開催できる環境を整えた。
- ・手指消毒を徹底するとともに、鑑賞時に密にならないよう入場者数の制限を行った。
- ・県が発令した特別警報時は、各施設で設定した入場人数上限を5人減らして対応した。



受付簿への記名（ライオン像のある館）



リストバンドの着用（インフォメーションセンター）

(2)大地の芸術祭との連携 ※2021年の開催は延期

- ・ほくほく線沿線地域振興連絡協議会が発行する「ほくほくマガジン」に夏のアートイベントの紹介記事として、大地の芸術祭とともになおえつ うみまちアートを掲載。
- ・広報上越8月号及び市報とおかまち7月10日号にイベント紹介記事を掲載。
- ・双方のイベントポスターを会期中掲載。
- ・観桜会において、十日町市のブースを設置し大地の芸術祭をPR。

8 来場者アンケート

会期中、作品の展示会場等でアンケートを実施し、来場者の意見を聴取した。

【アンケート概要】

設置場所：船見公園周辺海岸会場を除く3つの作品展示会場
インフォメーションセンター

回収方法：設置場所にて記入いただき、その場で回収

質問事項：鑑賞した会場、市内立寄場所、直江津地区への訪問目的 など

回収数：351枚

※アンケートの集計結果は、34ページ参照